

| 項目 | 内容 |
|-----------------|---|
| 名称 | イチョウ (銀杏・公孫樹)、ギンナン、ハクカ [英]Ginkgo、Ginkgo、Maidenhair tree [学名]Ginkgo biloba L. |
| 概要 | イチョウは、中国原産で、日本でも数多く栽培されている落葉高木である。中国や日本では種子を漢方として古くから利用しており、中国では紀元前2600年に既に喘息や気管支炎に用いていたという記録がある。イチョウの中国語名は「銀杏」「白果」「公孫樹」であり、中薬ではその種子のみを用いている。近年、イチョウの緑葉から調製したエキスの有効性に関する研究が国内外で実施され、イチョウの情報は、ほとんどがイチョウ葉エキスとなっている。ここではイチョウ葉エキス以外について述べる。 |
| 法規・制度 | <p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種子、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 |
| 成分の特性・品質 | |
| 主な成分・性質 | |
| 分析法 | ・ 銀杏中毒患者の血清中の4-O-メチルピリドキシンHPLCを用いた分析法が報告されている (PMID:15056852)。 |
| 有効性 | |
| ヒ 循環器・ ト 呼吸器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |

| | | |
|------|---|-----------------|
| での評価 | 消化系・肝臓 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 糖尿病・内分泌 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 生殖・泌尿器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 脳・神経・感覚器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 免疫・がん・炎症 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 骨・筋肉 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 発育・成長 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | 肥満 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| | その他 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 参考文献 | <p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (PMID:11826216) Pediatrics.2002 Feb;109(2):325-7. (2003225671) 小児科. 2003;44(3):387-91. (2001054559) 新潟市民病院医誌. 2000;21(1):45-7. (2004184832) 練馬医学会誌. 2003;10:85-8. (PMID:3219836) Contact Dermatitis. 1988 Oct;19(4):281-3. (2010063767) 小児科. 2009;50(12):2079-82. (2006288208) 西日本皮膚科. 2006;68(3):269-73. (2008168426) ICUとCCU. 2008;32(2):167-72. (2010027924) 秋田県医師会雑誌. 2009;60(1):43-5. (2011140332) 日本救急医学会雑誌. 2010;21(12):956-60. (PMID:23965545) Eur J Dermatol. 2013 Jul-Aug;23(4):548-9. (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (2017064956) 日本小児救急医学会雑誌. 2016;15(3):404-6. (PMID:22821965) Menopause Int. 2012 Sep;18(3):116-7. (PMID:11240603) Epilepsia. 2001 Feb 42(2):280-1. (PMID:12122516) Transpl Int. 2002 Jul;15(7):377-9. (PMID:12506530) Ital Heart J. 2002 Nov;3(11):689-91. (PMID:13679551) Postgrad Med J. 2003 Sep;79(935):531-2. (PMID:15960738) Anaesthesia. 2005 Jul;60(7):725-6. (PMID:16170143) Br J Ophthalmol. 2005 Oct;89(10):1378-9. (PMID:16419414) J Anal Toxicol. 2005 Oct;29(7):755-8. (PMID:11953006) Brain Inj. 2002 Apr;16(4):359-67. (PMID:19356072) Drug Metab Lett. 2008 Jan;2(1):60-6. (PMID:24730468) J Pharm Pharmacol. 2014 Sep;66(9):1339-46. (PMID:15285849) J Pharm Pharmacol. 2004 Aug;56(8):1039-44. (PMID:15056852) Biol Pharma Bull. 2004;27(4):486-91. (PMID:31113761) J Integr Med. 2019 Sep;17(5):338-343. (PMID:31670573) J Child Adolesc Psychopharmacol. 2020 Feb;30(1):38-47.</p> | |